

GS1の信条とGS1 Japanのパーパス

GS1の信条 : The Global Language of Business ビジネスの「共通言語」たること

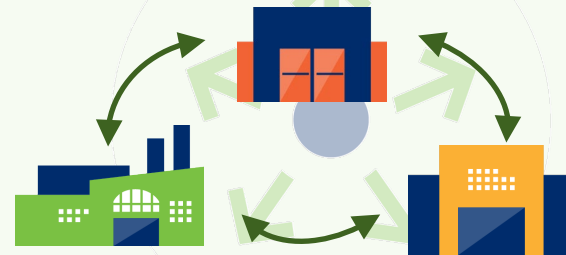
GS1 Japanは社会の共通プラットフォームとしての
コードやルールの“標準化”を通じて、
安心・便利な未来に貢献します。

- モノや場所などを特定し、その情報を取得・共有できる
「標準」を開発し普及に努めます。
- 「標準」を利用した効率的な情報連携の仕組みづくりを支援します。
- これらの活動を通じて、持続可能でより良い社会の実現に貢献します。

GS1標準データキャリア (1次元・2次元バーコード、電子タグ)



データ共有 (EDI、各種データベース、EPCIS)



「ビジネスの共通言語」＝GS1標準の3本柱

GS1識別コード (商品・場所・事業者・資産・物流単位などを識別)



GS1の標準と活動範囲の広がり

これまでのGS1

- ・流通POS・物流向けバーコード
- ・製配販の受発注単位のコード
- ・B2Bの情報交換の標準



現在・これからのGS1

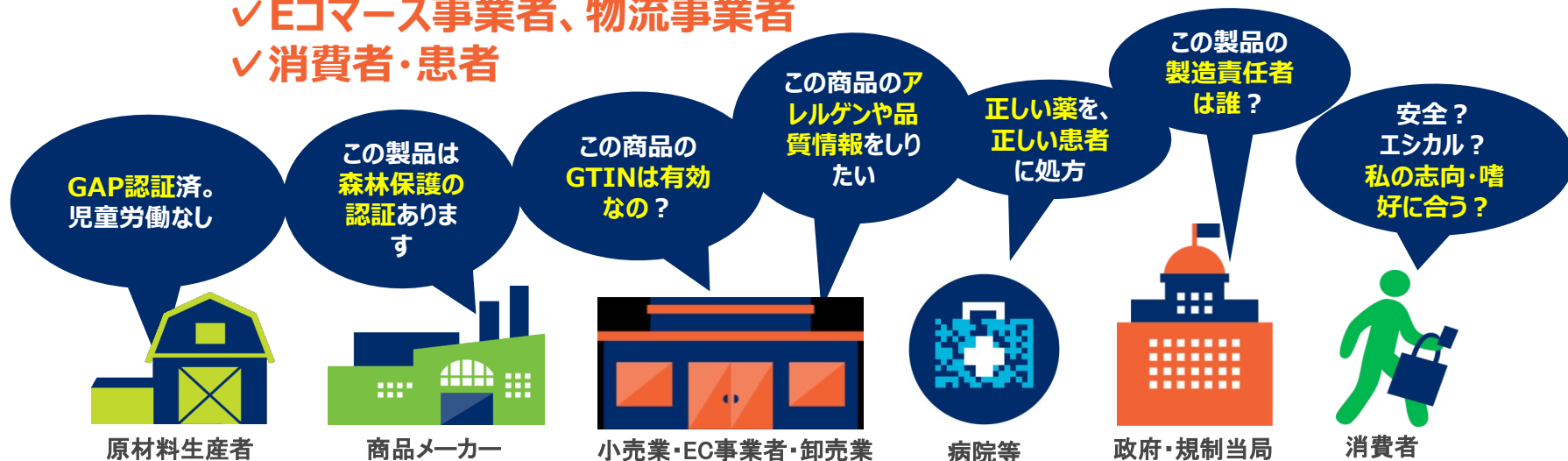
- ・流通・物流 + 医療や生産財にも標準コードやバーコードを利用
- ・オンラインの取引でもGS1標準コード
- ・B2Bも、B2Cも情報をつなげる標準



ネット化・デジタル化の進展と情報のステークホルダーの拡大

製配販三層の事業者（ブランドオーナー、卸売業、小売業）だけでなく…

- ✓ 政府・規制当局
- ✓ 病院・医療従事者
- ✓ ECマース事業者、物流事業者
- ✓ 消費者・患者

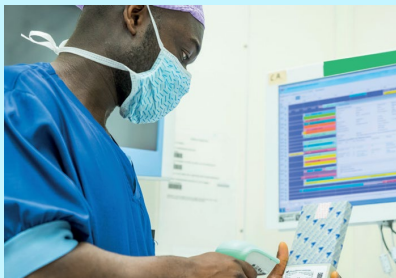


ビジネスの共通言語で情報をつなげて可視化、DXをサポート

各ステークホルダーが**同じ言葉で話し、情報がつながり、よりよい意思決定が可能に**



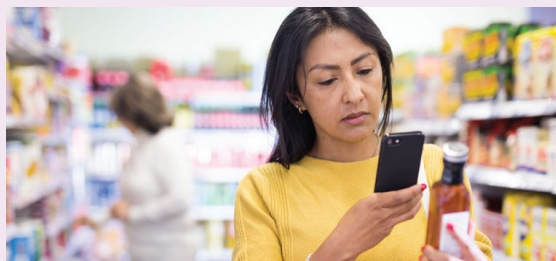
医療の安全をバックアップ°



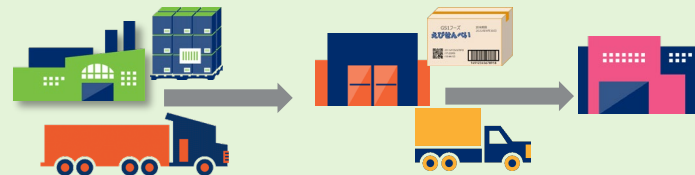
トレーサビリティの確保



GS1標準の活用で



B2B2Cの情報共有



物流情報も連携

GS1 Japanのめざす姿

- **GS1標準でリアルとデジタルをつなぎ、産業・社会の課題解決のためのDXを支える！**
- **サプライチェーンの可視化、効率化を支え、消費者や患者の安全・安心やサステナブル社会の実現に貢献する！**



The Global Language of Business

GS1 Japan

設立 50周年記念 情報交換会

2022年12月13日(火)

於：明治記念館



GS1 Japan 設立 50周年記念 情報交換会

パネルディスカッション

(パネリスト: 氏名50音順)

NTT東日本関東病院 名誉院長・東京医療保健大学 学事顧問

ライオン株式会社

取締役上席執行役員

落合 慈之 氏

久米 裕康 氏

国分グループ本社株式会社

代表取締役社長執行役員

國分 晃 氏

株式会社オンワードホールディングス

代表取締役社長

保元 道宣 氏

キリンホールディングス株式会社

常務執行役員

前原 正雄 氏

株式会社 カスミ

代表取締役社長

山本 慎一郎 氏

(モデレーター)

GS1 Japan (一般財団法人 流通システム開発センター) **理事**

森 修子